

農業経営基盤強化促進法第18条第1項の規定に基づき、公表します。

神戸市長 久元 喜造

市町村名 (市町村コード)	神戸市 (28100)	
地域名 (地域内農業集落名)	岩岡地区 (広古集落)	
協議の結果を取りまとめた年月日	令和7年8月15日 (第2回)	

注1:「地域名」欄には、協議の場が設けられた区域を記載し、農林業センサスの農業集落名を記載してください。
 注2:「協議の結果を取りまとめた年月日」欄には、取りまとめが行われた協議の回数を記載してください。

1 地域における農業の将来の在り方

(1) 地域農業の現状及び課題

<ul style="list-style-type: none"> ・現在、広古地区では、主食用水稲を中心に、とうもろこし ブロッコリー キャベツ 玉ねぎなどの野菜類に加え、いちじく、いちご等の果物を生産している。 ・わらと堆肥を交換し互いに経費削減する工夫(耕蓄連携)を講じている農業者も存在する。 ・個人を中心に耕作しているが、高齢化と人口減少により、農地管理や共同作業が負担になりつつある。 ・労働対価が見合わないことから、子は居ても今後の後継は望めないと考える農家も多い。また、作業委託していても今後も継続的に受託してもらえるかという不安がある。 ・地区内河川(第二印籠川)に土砂が堆積しているが、しゅんせつなどの管理がされず、災害時の不安がある。 ・農道が狭い上に、地区内河川(第二印籠川)の土手際の雑木が肥大化し危険箇所があるなど、車両通行上の課題箇所も多い。 ・パイプラインは約20年前に一部更新したが、本管はそのまま、今後の修繕や再整備の費用負担を含め地域の不安となっている。 ・アライグマ、カラス、イタチ、ヌートリアなどの有害鳥獣の被害に加え、ジャンボタニシによる害が増えている。
--

(2) 地域における農業の将来の在り方

<ul style="list-style-type: none"> ・水稲を中心に、とうもろこし ブロッコリー キャベツ 玉ねぎなどの野菜類に加え、いちじく、いちご等の果物を生産している。それらを継続的に組みつつ、近年変化する気候に適応し、かつ高収益な作物の取り入れについても検討する。 ・現在一部で行われている耕蓄連携の取り組みを広げて経費削減化を図る。 ・ドローンなどを活用するスマート農業を検討し、より効率化を図る。その場合は必要な経費補助などの情報も収集する。 ・適正価格による販売を目指すため、直売所の誘致や販路整備を検討する。 ・パイプラインや水路の点検を定期におこない、必要に応じて再整備の検討を行う。 ・有害鳥獣やジャンボタニシなどの対策を継続的に行う。
--

2 農業上の利用が行われる農用地等の区域

(1) 地域の概要

区域内の農用地等面積	39.0 ha
うち農業上の利用が行われる農用地等の区域の農用地等面積	39.0 ha
(うち保全・管理等が行われる区域の農用地等面積)【任意記載事項】	ha

(2) 農業上の利用が行われる農用地等の区域の考え方

<p>原則、市街化調整区域の農地を農業上の利用が行われる区域とする。ただし、山際等の小規模で生産性が低い農地や既に非農地化している農地等においてはその限りではない。</p>
--

注:区域内の農用地等面積は、農業委員会の農地台帳等の面積に基づき記載してください。

3 農業の将来の在り方に向けた農用地の効率的かつ総合的な利用を図るために必要な事項

(1)農用地の集積、集約化の方針
・一人の担い手になるべく隣接した農地を効率的に耕作できるよう団地面積の拡大を図る。そのための農地交換や貸し借りが円滑に進められるよう、行政やJA、中間管理機構などと情報共有できる体制をとっておく。
(2)農地中間管理機構の活用方針
・農地交換や貸し借りが円滑に進められるよう、農地バンクなども活用していく。
(3)基盤整備事業への取組方針
・水利施設の耐用年数も踏まえた再整備などについて、必要性も含め地域で検討していく。
(4)多様な経営体の確保・育成の取組方針
・将来的な担い手の確保について、集落内での確保が難しい場合は、外部の比較的若手の農業者や農業法人を受け入れていく。
(5)農業協同組合等の農業支援サービス事業者等への農作業委託の活用方針
・農業支援サービス事業者による田植え・稲刈り作業委託等も合わせて検討する。

以下任意記載事項(地域の実情に応じて、必要な事項を選択し、取組方針を記載してください)

<input type="checkbox"/> ①鳥獣被害防止対策	<input type="checkbox"/> ②有機・減農薬・減肥料	<input type="checkbox"/> ③スマート農業	<input type="checkbox"/> ④畑地化・輸出等	<input type="checkbox"/> ⑤果樹等
<input type="checkbox"/> ⑥燃料・資源作物等	<input checked="" type="checkbox"/> ⑦保全・管理等	<input type="checkbox"/> ⑧農業用施設	<input type="checkbox"/> ⑨耕畜連携等	<input type="checkbox"/> ⑩その他

【選択した上記の取組方針】

・多面的活動を通じて、水路、ため池の保全や遊休農地の有効活用を地域で一体的に取り組む。